

## アンケートの結果について

2月に行いました保護者アンケートでは、たくさんの方にご回答していただきましたとともに、貴重なご意見をいただきありがとうございました。子どもたち及び教職員も同様にアンケートを実施しましたので、本校の課題となる点や向上した点についてご報告いたします。

## 1 保護者アンケート 分析結果

重要度・実現度 最高 7.0

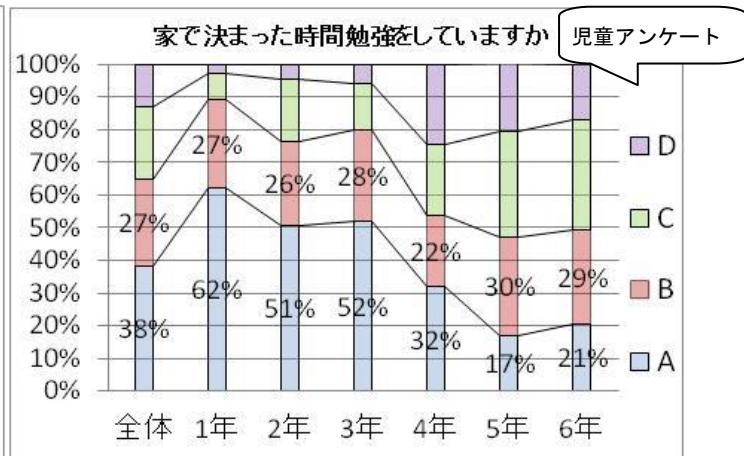
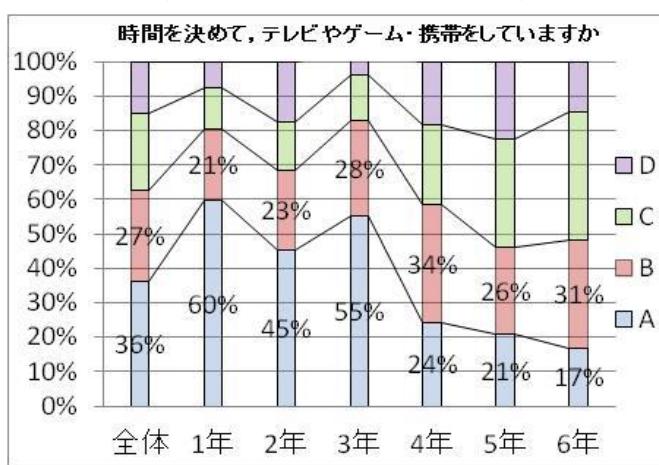
ニーズ度が 25 以上または 25 に  
近い項目が課題となる点です

質問文	重要度	実現度	保護者ニーズ度	教職員評価実現度
学校が楽しいこと	6.7	5.3	18.1	4.1
正しい姿勢で学習すること	6.5	4.2	24.7	3.2
授業中いっしょくじめい勉強をすること	6.6	4.7	21.8	3.5
授業の内容を理解すること	6.8	4.6	23.1	3.6
毎日、(15分×学年)以上家庭学習をすること 例) 2年生 15分×2=30分 3年生 15分×3=45分	5.9	3.9	24.2	2.5
読書をすること	6.3	3.7	27.1	3.6
先生の話や友だちの意見をしっかり聞くこと	6.7	4.6	22.8	3.6
相手の気持ちを考えて行動すること	6.7	4.6	22.8	3.6
挨拶をすること(家・地域・学校)	6.7	4.6	22.8	2.5
正しい言葉づかいができる [先生や地域の方と話をするとき]	6.5	4.5	22.8	3.3
他の学年の児童といっしょに活動すること(たてわり活動)	6.1	4.9	18.9	4.2
進んで体を動かしたり、運動したりすること	6.4	4.8	20.5	4
早寝・早起きをすること	6.5	4.3	24.1	3.1
時間を決めて、テレビやゲーム・携帯などをしてすること	6.5	3.5	29.3	2.5
約束やきまりを守り、安全に気をつけて遊ぶこと	6.7	4.9	20.8	3.5
学校の様子が分かること(おたより・ホームページ)	6.2	4.9	19.2	4.1

## 児童アンケートの結果から【2月】

実現度が 7.0 に近いほど重要であり  
実現できているといえます

## 1. 『時間を決めて、テレビやゲーム・携帯をしていますか』

A…よくできている B…だいたいできている  
C…あまりできていない D…できていない

保護者アンケートの結果をみると、『家庭学習・読書・テレビやゲームの時間』の項目の実現度が低くなっています。上記の左のグラフは、家庭でのテレビやゲーム・携帯について尋ねた児童アンケートの結果のグラフです。全体のAB評価は62%と低い割合になっています。前回の7月は81%の児童がAB評価をしていたので、20%近くダウンしています。ほぼすべての学年で下がっていますが、4年生以上の高学年で下がり方が大きいと思います。気にかかる点は、このことが生活リズムを崩してしまう可能性があることです。「早寝・早起きをしていますか」の結果をみるとやはり前回より、高学年ではABの割合が下がっ

教職員評価	重要度	実現度	ニーズ度
時間を決めて、テレビやゲーム・携帯をすること	5.6	2.5	30.8
家庭学習をすること	5.5	2.5	30.3

ています。1月の生活リズム調査でも同様の結果が出していましたが、2時間、3時間とテレビやゲームをすると、当然寝る時刻も遅くなり、朝もなかなか起きられなくなります。また、睡眠不足は学習中の集中力を欠くことにもなりますし、体調を崩す原因にもなります。

さらに、気になるのが家庭学習とのかかわりです。学年が上がるにつれて、学習内容も難しくなり、家庭での継続した学習が必要になってきます。「**家で決まった時間学習していますか**」(前のページ右の表)の項目では、家庭でのテレビ・ゲームの実態とよく似た結果が出ています。子ども自身も十分にできていないととらえているよう

です。特に、高学年ではほぼ半数の子どもたちがCD評価をしています。家庭での生活はやはりまずは家庭学習をきちんと位置付けていくことが大切だと思います。そのうえで、テレビやゲームなどの使用時間を決めさせていくことが必要ではないでしょうか。生活リズム調査で行った『自分で時間を決めてテレビなどを視聴するアウトメディアの取組』も有効だと思います。今後、懇談会や家庭訪問などで話題の一つとして取り上げていければと思います。

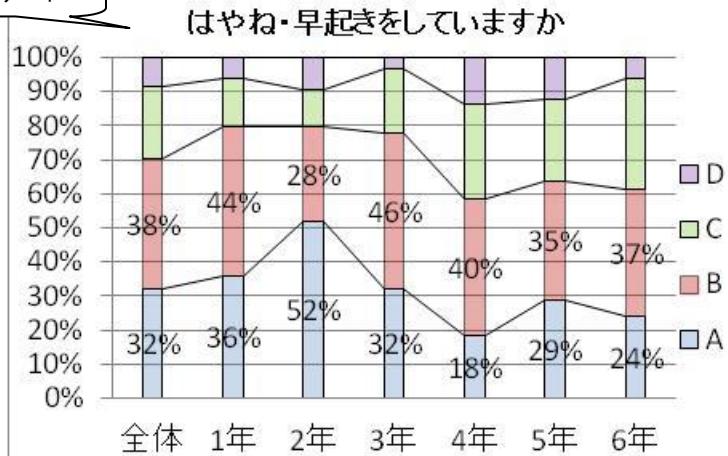
## 2. 「学校は楽しいですか」「授業中一生懸命勉強していますか」「学校の授業はよくわかりますか」

上記の項目に関しては、ほぼAB評価が90%となっています。実際に授業の様子を見ていても、子どもたちは落ち着いて学習に取り組んでいます。各学年では子どもたちが「分かった」「楽しかった」と感じられ達成感のもてる授業をめざしています。また、ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ、お互いに学び合う姿勢を大切にした授業に取り組んでいます。後期には、総合的な学習の時間などで、他のクラスや他の学年に学習の成果を発表するなど、自分の考えを分かりやすく工夫をして表現する学習にも取り組みました。子どもたちが意欲的に学習に臨む姿がたくさん見られました。しかし、A評価に着目してみると7月と比べ子どもたちの評価は全体的に下がってきています。もちろん楽しいだけではなく、しんどい思いもして粘り強くやり遂げる力も育てていかなければなりません。前期から後期にかけて子どもたちの意欲が少し下がってしまった原因については、今後の課題として検討していきたいと考えています。

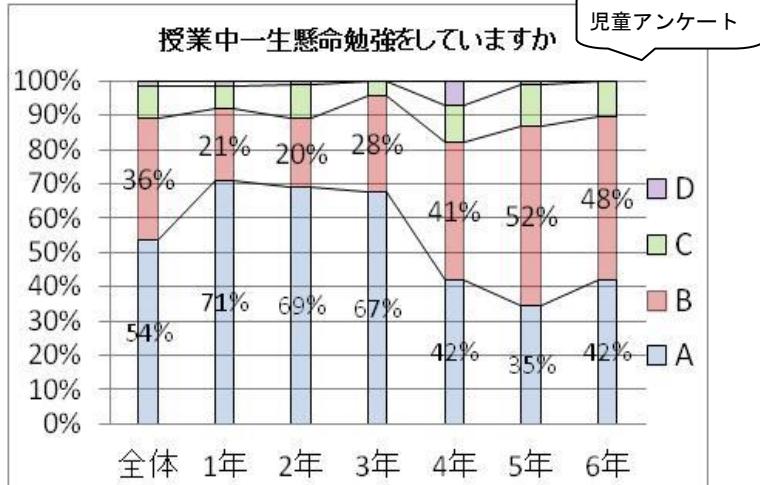
### 自由記述欄より(※学校全体に関わる内容を掲載します)

- ・子どもたちの気持ちを理解した上で言葉を選んだ指導をしてほしいです。
- ・勉強は楽しいことだと思えるような指導を心掛けてほしいです。
- ・テスト前には子どもたちに復習をするように声かけをお願いします。
- ・下校時刻と実際に帰ってくる時刻が違います。
- ・ホームページの更新は学年により違いがあると思います。
- ・宿題が多くあります。友達と遊ぶこともこの時期の子どもには大切です。
- ・メール配信はできれば前日に分かるほうが準備など助かります。
- ・勉強で理解できる喜びや解けた時の気持ちよさ、点数がとれた時の充実感などについても子どもたちに伝えてほしいです。
- ・作文を書く授業、機会をもっと多く取ってほしいです。

児童アンケート



教職員評価	重要度	実現度	ニーズ度
早寝・早起き	5.6	3.1	27.4



感想・ご意見の欄では、他にもよかったです点や改善すべき点について貴重なご意見をたくさんいただきました。課題として挙がってきたことについては、共通理解を図り、改善に向け取組を進めてまいります。今後ともますますのご支援・ご協力をよろしくお願いいいたします。